

## 関西の教育現場で活躍中の皆様へお送りする、総領事からのメッセージ(第1号)

皆様こんにちは。駐大阪韓国総領事の呉泰奎です。

やっと梅雨が明け、今度は蒸し暑い夏の暑さが本格的にやって参りました。新型コロナウイルス感染症の拡大により、公私共に厳しい状況が続いているかと思えます。この場をお借りし、慰労と激励の言葉を申し上げます。

今後私は毎月、月の第一週目に、大阪総領事館の管轄内で活躍しておられる教育関係者の皆様へ、**SNS(LINE)**を通して簡単なお手紙をお送りしようと思っております。新型コロナウイルス感染症の拡大ゆえに減ってしまった皆様との接点を、どうにか補えないかと悩んだ末に得た着想ではありますが、同時に、**関西における教育関係者の皆様が様々な情報や意見を交わし合うことのできるコミュニケーション・ネットワークを構築・活性化させることによって、民族教育の発展に微力ながら寄与できたら**という思いがあるのも本音です。

既に皆様もお察しの通り、コロナによってこの世は大きく変化しています。対面型が普通であった既存の日常生活の中に、いつの間にか非対面型の方式が浸透して来ており、今やかなりの割合を占めています。このような傾向は、コロナが落ち着いてからも大きく変わることはないだろうとお見受けしております。民族学校、ハングル学校におかれましても、オンライン授業に取り掛かってみて、実際に肌で感じておられるかと存じます。

私たちは、非対面型の社会を自然と受け入れ、そのメリットを最大限に引き出すべき時点に今立っております。私の配信する毎月のメッセージが、**教育関係者の皆様へ伝わる過程において、今まで繋がっていなかったメンバー同士がSNSを通して一つの輪となるきっかけになればと期待しております。**まずは民族学校、民族学級、ハングル学校、世宗学堂に携わっておられる関係者の皆様を対象にメッセージをお送り致しますが、**今後は、韓国語を第2言語として取り入れている学校の教員や、韓国(語)学を専門とする大学の研究者達にまで対象者を拡大して行きたい**と思っております。皆様の忌憚のないご提言をお待ちしております。

それでは前置きが長くなってしまいましたが、以下にいくつか私からのお願いを述べておりますので、ご一読頂けますと幸いです。

## 一つ目、新型コロナ第2波に対する警戒心を持って業務に励んで頂けます様、お願い申し上げます。

私は、第1波よりも第2波の方がより深刻な被害をもたらすかもしれないと危惧しております。  
△コロナに対する警戒心が薄れつつあり、多くの人たちの気持ちが緩んでしまっている点、  
△第1波の対応過程において日本政府は使用可能な政策的手段(休業補償など)を相当費やしてしまっており、経済危機の警戒心から、政府の対応が鈍化している点を踏まえると、第2波は規模や速度の面において第1波を大幅に上回る可能性が高いと思われれます。特に、長期間の臨時休校によって圧迫されている授業時数を補うため、やむをえず授業を行い続けなければならない教育現場は、より徹底して気を引き締める必要があるのではないかと考えます。

今は、教職員、生徒、保護者など、全ての関係者達が一丸となって各々の靴紐をしっかりと結び直すべきタイミングです。マスクの着用、消毒、検温、換気など基本的な予防対策に万全を期して頂き、また非常時の連絡網や、感染が疑われる場合の対応マニュアルなども改めて見直して頂きます様、お願い申し上げます。

## 二つ目、ポストコロナの時代に向けた教育方式を模索し、先導的に定着させて頂きたいと思います。

3つの民族学校が4～5月中にオンライン授業を実施したことや、京都韓国教育院が全日本韓国語弁論大会(7.4)を動画審査により開催したことは、教育分野において良い先例となりました。

多くの専門家が、コロナが終息した後も、以前の様な生活に戻ることはないであろうと予測しています。今後全ての教育活動計画は、対面での活動が困難になるかもしれないという前提の元、練られる必要があります。対面と非対面、双方向からのアプローチが必要であり、その時の状況によって柔軟かつ迅速に選択し、遂行していく体制を整えていかなければなりません。

新型コロナの深刻化に備え、対面・非対面授業の併行や、教育機関同士におけるオンラインコンテンツの共有など、是非とも積極的に推進していきましょう。

三つ目、総領事館が運営するオンラインツール(ホームページ、フェイスブック、ツイッター、インスタグラム)を積極的に活用してください。

コロナ事態以降、我々総領事館もホームページやSNSの発信に力を注いでおり、これらを通して情報を得ようとする人もかなり増えています。皆様も宣伝されたいイベントや情報などがございましたら、我々も喜んで総領事館のホームページに掲載致しますので、積極的にご活用ください。

私たち民族は、常にピンチをチャンスに変えて乗り越えてきました。今、まさに世界は網目を潜り抜ける障害物競争の最中です。その網目を賢く潜り抜けたとき、きっと新たな勢力図が出来上がっていることでしょう。関西で活躍しておられる教育関係者の皆様も、今回のコロナを逆手に取り、民族教育の地位を高めるチャンスとして、上手に乗り越えてくださることを願っております。

それでは、次回のメッセージをお送りするまで、どうぞ皆様ご自愛なさってください。

2020.8.5 駐大阪大韓民国総領事館 総領事 吳泰奎